

CASBEE神戸ver.3

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

(使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-6D_NC_2016(V2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	西神中央 文化・芸術ホール等整備	階数	地上4F
建設地	神戸市西区美賀多台1丁目1番1	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	1,500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,524 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年7月 予定	評価の実施日	2020年12月11日
敷地面積	4,000 m ²	作成者	伊藤彰彦
建築面積	2,793 m ²	確認日	
延床面積	6,172 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 97%
 ③上記+②以外の 97%
 ④上記+ 97%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 CASBEE神戸 の重要項目

バリアフリー計画	建築物の耐震性等	まちなみ・景観への配慮
Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 <p>3.0</p>	Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 Q-2/2.4 信頼性 <p>3.6</p>	Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 <p>4.0</p>
配慮の概要 建物中央の使い勝手のよいEVの計画や、2Fデッキからも車椅子でアクセスできるスロープ設置、舞台客席入り口付近に車椅子スペースを設け、取り外し可能な座席によりその範囲を拡大可能にするなどバリアフリーに配慮している。	配慮の概要 重要度係数を大地震時(保有水平耐力計算)に対してI=1.25 (II類)とする。 非常用発電機を備え、災害時に重要度の高い換気系統を優先運転する系統分けを行っている。また、冠水災害を受けにくいようキューピクル等重要設備を屋上に配置している。	配慮の概要 フレームを主体とした周辺ファサードを踏襲し、まちなみとの調和を図った。 建物周囲に植栽を配置することや、北側壁面に緑化をすることで、良好な景観を形成している。
その他の配慮事項 特になし		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE神戸ver.3
西神中央 文化・芸術ホール等整備事業

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.7
Q1 室内環境							0.40			3.9
1 音環境						4.8	0.15			4.8
1.1 室内騒音レベル		劇場)NC-20~25(30db以下)、図書館)NC-30~35(40db以下)				5.0	0.40	3.0		
1.2 遮音						5.0	0.40			
1 開口部遮音性能		開口部遮音性能T-2				5.0	1.00	3.0		
2 界壁遮音性能						3.0		3.0		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0		3.0		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0		3.0		
1.3 吸音		劇場)ホワイエや多目的室等で壁・天井の2面に吸音材を採用				4.0	0.20	3.0		
2 温熱環境						3.3	0.35			3.3
2.1 室温制御						3.0	0.50			
1 室温						3.0	0.38	3.0		
2 外皮性能						3.0	0.25	3.0		
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38			
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0		
2.3 空調方式		劇場)客席は床吹き出し方式、図書館)ライン型、アネモ型				4.0	0.30	3.0		
3 光・視環境						4.6	0.25			4.6
3.1 昼光利用						5.0	0.60			
1 昼光率		昼光率:4.464%				5.0	0.60	3.0		
2 方位別開口								3.0		
3 昼光利用設備		トップライトで室内の奥まで自然光を取り入れ昼光利用している				5.0	0.40	3.0		
3.2 グレア対策										
1 昼光制御						3.0		3.0		
3.3 照度		500lx<照度<1000lx				4.0	0.40	3.0		
3.4 照明制御								3.0		
4 空気質環境						3.6	0.25			3.6
4.1 発生源対策						3.0	0.50			
1 化学汚染物質						3.0	1.00	3.0		
4.2 換気						3.6	0.30			
1 換気量		30m ³ /h・人以上				4.0	0.33	3.0		
2 自然換気性能						3.0	0.33	3.0		
3 取り入れ外気への配慮		空気取り入れ口は汚染源のない方位に設けられている				4.0	0.33	3.0		
4.3 運用管理						5.0	0.20			
1 CO ₂ の監視		CO ₂ 監視が中央で常時行えるシステム				5.0	0.50			
2 喫煙の制御		全館禁煙				5.0	0.50			
Q2 サービス性能							0.30			3.6
1 機能性						3.7	0.40			3.7
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40			
1 広さ・収納性						3.0		3.0		
2 高度情報通信設備対応						3.0		3.0		
3 バリアフリー計画						3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性						5.0	0.30			
1 広さ感・景観						3.0		3.0		
2 リフレッシュスペース						3.0				
3 内装計画		インテリアパースによる事前検証がある				5.0	1.00			
1.3 維持管理						3.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		各階に清掃用流しを計画				4.0	0.50			
2 耐用性・信頼性						3.5	0.30			3.5
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.8	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		25%増の耐震性を有する				4.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						3.2	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用				5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20			
2.4 信頼性						3.6	0.20			
1 空調・換気設備		電気・ガスと熱源種の分散化を行っている				4.0	0.20			
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20			
3 電気設備		非常用発電機の設置				4.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA				4.0	0.20			
5 通信・情報設備						3.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30	-	-	
1 階高のゆとり			3.0	-	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率:0.13	4.0	1.00	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		劇場)客席:3500N/m ² 図書館)開架スペース:7800N/m ²	4.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.2	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		OAフロアの採用	5.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.7
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		周辺のまちなみへの調和に配慮している	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地場産の木材の使用がある	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.89	4.1	0.20	-	-	4.1
2 自然エネルギー利用		トップライトの採用	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.95	2.2	0.50	-	-	2.2
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		省水型機器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル床シート、ロックウール化粧吸音板、押出法ポリスチレンフォーム	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGS、OAフロアの採用	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		ノンフロン製品を採用している	4.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出量削減に配慮	3.1	0.33	-	-	3.1
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		駐車・駐輪スペースの確保	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害チェックリストの過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	